在京白堊會報

第14号
平成15年３月30日
発行
在京白堊会
〒101-0025 東京都千代田区
神田佐久間町1-11
産報佐久間ビル
産報出版（株）内
TEL&FAX（03）3254-9301
http://www.hakua.sokei.co.jp/index.htm

第34回在京白堊会総会

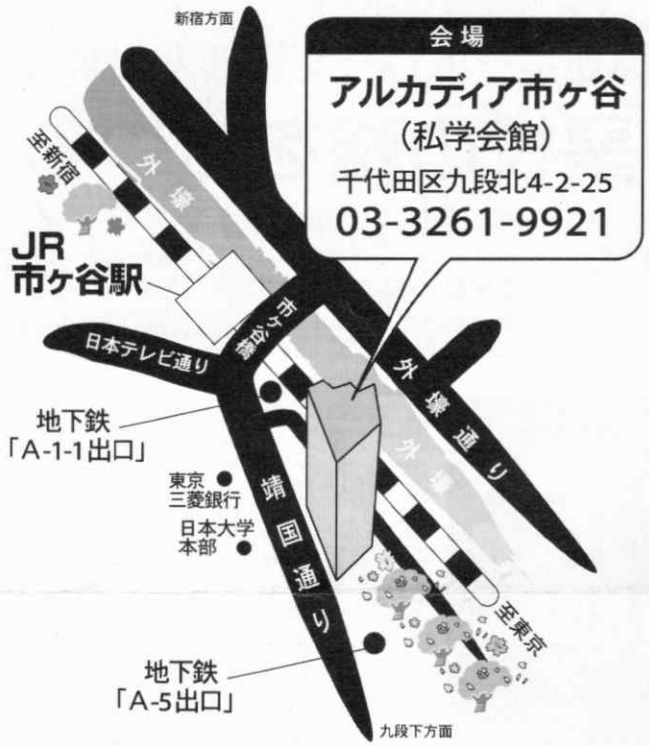
5月10日㊏、「アルカディア市ヶ谷」で！

午後4時より「講演会」、午後5時45分より「総会・懇親会」

ご案内

日時：5月10日（土）午後4時～
場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）
会費：一〇，〇〇〇円（年会費二，〇〇〇円を含む）
学生・院生　三，〇〇〇円（両右）

会場
アルカディア市ヶ谷
（私学会館）
千代田区九段北4-2-25
03-3261-9921



本年度、第34回在京白堊会総会は、昭和46年卒が担当いたします。昭和43年、私たちが白堊の一員になったその年に、わが校硬式野球部が夏の甲子園大会に出場しました。それをきっかけに在京白堊会がスタートしたと聞いていますので、幹事を務めさせていただく私たちにとって、特別な思いもあります。

盛岡一高始まって以来と言われた、大運動会の大雨での延期、そして、再開された日の大地震等々……。

当時の高校生活、友人との語らいなど、故郷の心象風景は、今もってそのままです。

そこで、本年の総会では、私たちの原点である「ふるさとの風景」を通して、もう一度『スタートラインに！』と、企画しました。すべて手づくりの会となりますが、会員の皆様に少しでも安らいでいただければ幸いです。

場所は、昨年と同様、JR市ヶ谷駅前の「アルカディア市ヶ谷」（旧私学会館＝地図参照）で、二部構成で行います。

第一部は、午後4時より、遊座昭吾先生の講演会を。第二部は、同5時45分より、総会および懇親会を行います。

日時は、5月10日（土）。本年も、土曜日開催となりますので、校友を誘って、奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

出欠は、同封のハガキにてご連絡ください。

なお、当日は、46卒のバンド『フォーティワン』が、懐かしい曲を演奏いたしますので、リクエストやエピソード等がありましたら、同封のハガキにてお知らせください。（46卒）

講師プロフィール

石川啄木研究の第一人者
遊座昭吾先生

石川啄木研究家。元・国際啄木学会会長。昭和39年4月から51年3月まで盛岡一高国語教師として教鞭をとったのち、盛岡大学教授として10年間奉職。最近も石川啄木の盛中時代に書いた岩手日報初出の短歌を発見し発表するなど、精力的にご活躍されています。

お願い
総会欠席の方は、同封の振替用紙で会費二，〇〇〇円を振込み願います。

在京白堊ゴルフ大会開催（予定）のご案内

各年次別では盛んなところもあるようですが、在京白堊会でのゴルフ大会開催を要望する声も多くなっています。そこで、今秋11月頃に開催を企画しております。

つきましては、年次対抗戦ができるか、グループ対抗戦か、あるいはまったくの個人戦がよいか、どれくらいの規模になるのか見当がつきませんので、参加希望者は事務局に5月末までにご登録ください。年次代表者による見込みでも結構です。できるだけ、多くの希望者の期待にそえる大会を企画いたしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

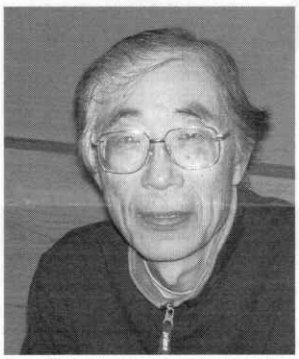
特集●在京白堊関連ホームページ管理人座談会

ホームページが白堊校の輪を広げる

ここ数年で在京白堊会ホームページをはじめ、各年次のホームページが次々と開設され、新しい白堊の輪を広げています。いつでもだれでも好きな時間に訪れることができるホームページは、ＩＴ時代にふさわしいコミュニケーションツールといえるでしょう。そこで、白堊関連ホームページの管理人に集まっていただき、それぞれのこだわりやエピソード、苦労話などを語り合っていただきました。

30年代バンカラ世代の心意気

司会　今、白堊会関連のホームページはお互いにリンクを張り合って活発に相互交流を深め、電脳白堊会の様相を呈しています。また、年次によって、かなり特色もみられます。そこで、管理人の方に、それぞれの特色を語っていただきたいと思います。トップバッターとして、今回参加の最高齢、34年卒の星先輩からお願いいたします。


星　邦彦さん（昭和34年卒HP管理人）

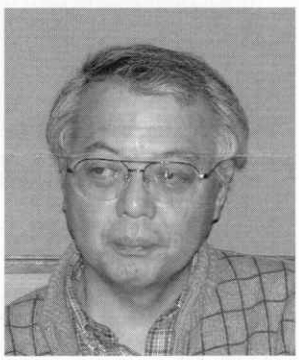
星　私のホームページは「白堊應援団30」と銘打っているように、メインは応援団です。応援委員のOBや現役生もよくアクセスしてきます。それに34年卒年次のものもつくっています。昭和30年代は、盛岡一高の歴史の中でもいちばんバンカラで、暴れ者が多かった世代です。その様子を同級生の角谷政弘くんが小説「空に吸われし」で著したので、私は別のビジュアルな形で後輩に伝えようとチャレンジし始めたのがこのホームページです。そして、私のところの特長は掲示板が三つあることです。メインの「白堊應援団30」の掲示板の『第一教室』、「バンカラとはなんぞや」など応援に関する討議の場の『應援委員会室』、それとなんでも投稿できる『休憩室』です。昭和26年卒神山眞澄先輩からお借りしたアルバムからのなつかしい写真などもあります。

司会　「白堊應援団30」は、掲示板ばかりでなく、トップページを開くと応援委員がM旗振って出迎えたり、音楽が聞こえたり、ビジュアル的にもにぎやかですね。続いて、在京白堊会の公式ホームページができるまで在京白堊会のオフィシャルホームページの役目を果たし、累計アクセス数も5万件突破とダントツを誇る、昭和42年卒「疾風会ホームページ」管理人の佐藤泰久さんにお願いします。

総会幹事担当が出発点に

佐藤泰久さん（昭和42年卒HP管理人）

佐藤　われわれ昭和42年卒は42をシップウと読んで疾風会と名乗っていますが、ホームページは4年前の在京白堊会総会幹事年が出発点となりました。当時は「白堊のはらっぱ」とか白堊五四会などがありましたが、在京白堊会の会員が気軽に立ち寄れるようなホームページはありませんでした。そこで、正月に暇だったのでパソコンを勉強していて、ちょっとつくってみようかと……。どうせつくるなら表紙の背景にM旗をあしらい、双方向コミュニケーションができる掲示板もいれてと、かなり気合いを入れてつくりました。最初は総会案内や準備の連絡、疾風会関係の写真などが主な内容でしたが、それだけではつまらないので、一高野球部の速報や新校舎の写真など紹介するようになって疾風会以外の訪問者も増えてきました。盛岡一高で検索すると最初にでるなど、立ち上げが早かったということで、定期的に訪問してくれる人も多いのだと思います。掲示板の話題はあっちいったりこっちいったりしていますが、最近は「山田線50隧道（トンネル）」の話題で盛り上がりました。

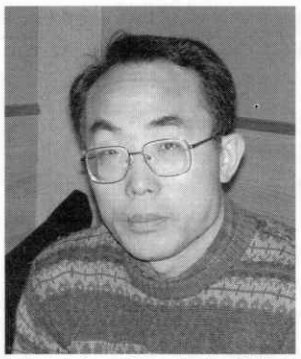

千葉順成さん（昭和45年卒HP管理人）

星　疾風会は在京白堊会年次ホームページの老舗ですよね。疾風会がきっかけとなって、そのあと続々と立ち上がってきたからね。私も佐藤さんを師と仰ぎながらつくりました。

司会　千葉順成さんの在京白堊四五会のホームページも、味がありますね。

大任終えて開店休業に?!

千葉　7月で丸3年を迎えますが、われわれも在京白堊会の幹事になるということがきっかけでした。そこで、拝見していた疾風会や星先輩の應援団と同じようなものをやろうと（笑）。そのころは総会準備のため、しょっちゅう集まり、ホームページもその一環として立ち上げたのですが、去年幹事が終わったら皆気が抜けて、いま、開店休業状態です（笑）。7月に在京同期会をやり、同期の修学旅行も企画していますので、そうした写真や動画をアップすれば、また、もう少し活況がでてくると思います。ただ、最近はセキュリティー上、微妙なところも


藤井則夫さん（昭和47年卒HP管理人）

ありますので、同期生限定のメーリングリストをつくり、オープンになると困る情報はメーリングリストで流すようにしています。同期生のメーリングリストの登録は現在97人、あと3人で目標の100人になります。

遠方より友来る

藤井　われわれも動機は45年とまったく同じです。総会の幹事が少なすぎるからなんとか集めようということで、45年のホームページのコンテンツや手法をそっくり学ばせていただきました。40人ぐらいの同期生のメーリングリストもできました。おかげさまで、盛岡をはじめ、京都、山口、秋田などからも反響があり、7月20日には35～37名ほど集まって同期会を行うことになっています。来年の総会幹事に向けた実質的な決起集会ですね。このように遠方からも会員が集まったのはネットのおかげで、自分の年次のホームページを持って本当によかったと思っています。

馬場　信さん（昭和41年卒HP管理人）

3000日のカウントダウン

司会　総会幹事担当の準備と言えば、東京白堊55会の加藤さんのホームページも、トップページにいきなり「在京白堊総会幹事担当まであと33××日」というメッセージが出てきます。あれは感動ものですよね。

加藤裕一さん（昭和55年卒HP管理人）

加藤　東京白堊55会ホームページを昨年、本校ホームページが開設される少し前に立ち上げまもなく1年になりますが、カウントダウンはほんの遊びでいれてみました。ホームページは、他に手をあげてくれる人がいなかったので、私が立ち上げました。最近、更新をちょっとさぼっていますが、これまで電話で行っていた同期会などの行事の連絡は、これからはコンピュータを使いメールアドレスを持っている人には、ホームページと電子メールのネットワークを使って連絡と出欠の確認を行っていこうと思っています。

馬場　41年次はずっと毎年7月の第1日曜日に同期会を行っていることから七夕会と言っていますが、七夕会ホームページも疾風会に感化されて立ち上げました。表紙に写真があって、あとは掲示板だけという非常にシンプルなホームページです。それでも開設当初は掲示板への書き込みも多く、内容は充実していたのですが、最近書き込む人が少なくなり、ホームページ上ではにぎやかさがなくなっています。しかし、各界の第一線で活躍する同期や同窓生を隔月にお招きし講演を聴く二次会という勉強会は、7～8年ずっと続けており、七夕会そのものの交流は今も活発です。また、われわれ41年次は盛岡で別に「盛岡41会」というホームページをつくっています。こちらは、一度突然消えるというアクシデントに見舞われましたが、今は復活しており、管理人が熱心でデザインも七夕会より凝っており、掲示板もにぎやかです。

海外の同期生からリンクも

水原　滋さん（昭和50年卒HP管理人）

司会　55年の水原さんは年次ホームページの管理人でもありますが、在京白堊会の公式ホームページの管理人もお願いしています。年次とオフィシャルページでは気苦労も大分違うと思いますが、そのへんも含めてお話いただければと思います。

水原　私がデザインの仕事をしていて、しかも総会や幹事会に比較的顔を出していたことから、平成12年秋に、在京白堊会のホームページを「おまえがつくれ！」と白羽の矢が立てられました。それなら、ついでにわれわれの年次のホームページも立ち上げようということになり、白堊90を開設しました。在京白堊会のためにつくったような年次ホームページですが、つくってよかったと思うことは、検索で探し当てて、パリやドイツに住んでいる同期生からお便りをいただいたことです。バルセロナ在住の同期生からは、リンクを張って町のライブ映像を送っていただきました。

馬場　七夕会、41会もアメリカとか中国の同窓生からのアクセスが多いなあ。

水原　でも、年次のホームページは同期生の気軽さで普段着の管理ができますが、オフィシャルはその点、どんな方が見ているのかわからないので、更新には神経を使いますね。それと、オフィシャルの場合、情報がなかなかあがってこなくて、頻繁に更新できないのが残念です。ホームページを見た人が、ただ見るだけでなく、一言でも掲示板にメッセージを残してくれるとたすかるんですけどね。ホームページは新鮮なリンクと掲示板が命です。気配りも大切ですが、オフィシャルといえども肩肘はらずに、もっと気楽に書き込んだり、情報を提供していただければと思います。

こまめな更新がアクセス増に

司会　ホームページは鮮度が命、という意味の発言がありましたが、来場者を多くするためにどのような工夫をされているのか、アクセス数の多い佐藤さんから一言…。

佐藤　表紙を、ちょこっとでもいいからこまめに変えること。それと、掲示板に書き込みがあってレスが付かないとき、管理人から一言でもレスをつけてあげることです。これがリピーターを増やす秘訣です。

藤井　動作が重くなるのは困るけど、カウントダウンのような仕掛けも楽しいですよね。

司会・監修　山田武秋（昭和42年卒）

各年次に開設されたホームページのネットワークが、大きな白堊の人的・知的ネットワークを形成する

司会　白堊会関連といってもシンプルなものからとびきり凝ったホームページまでいろいろありますが、デザイン的なこだわりはありますか。

簡単にできるＨＰ開設

水原　50年卒は画家や書家など芸術家が多く、自分もデザインの仕事をしているので、色と機能デザインにはこだわりました。色は母校のカラーでもある早稲田カラー。デザイン的には、これはパソコンの操作とも関連しますが、メニュー位置を在京疾風会は右に、白堊90はセンターに配置しています。画面左にメニューをおくよりも、右側においたほうが絶対にマウスでクリックなどの操作がしやすいからです。

星　オレのこだわりは、やっぱり応援団と、木造の白堊城、それに季節感のある岩手山ダナ（笑）。応援団は表紙のページで絶対にＭ旗を振ってやろうと思って、アニメでできたときはヤッター！　デザインは、仕事がデザインだから苦にならず簡単にできました。

司会　千葉さんや藤井さんはホームページの仕組みについてはプロのようなものだから、立ち上げるとき苦労はなかったでしょうけど、他の皆さん、特に文系の方は最初につくるとき苦労した点はなかったんですか。

馬場　私は簡単な雛形をＨＴＭＬ言語でつくってもらい、写真など最低限の更新をするだけですが、今はホームページビルダーなどのソフトがあるから、誰でもできるでしょ。

千葉　インターネットのもともとの仕組みは私たちがつくって、今の形ができる前から使っていました。今、標準といわれるものが出たときは「何だ？これは！」という感じでした。今はしょうがないから使っているけど、ホームページ自体はワープロソフトでホームページとして書き出すだけでもできます。

佐藤　ただ、サーバーにアップロードするときだけ、最初はコツがいるかもしれませんね。

馬場　でも、今なら身近に必ず一人や二人、知っている人がいるから、教えてもらえます。無料で20メガ、50メガといったホームページの無料スペースを使えるプロバイダーもあり、インターネットができる環境さえあればだれでもホームページを立ち上げることができますから、まだホームページがない年次も、これからぞくぞくと名乗りをあげて欲しいですね。

各年次にホームページを

司会　各年次のホームページは、在京白堊会のオフィシャルページを含め、すべてボランティアで運営されていますが、管理人としてたいへんなこと、困ったことはありませんか。

星　ボランティアでやってることが分かっているのか、文句を言ってくる人はいない！

千葉　でも、変なメールが来るようになったことがあります。セキュリティーの面ではまだ脆弱なシステムですから、気を付けないといけません。

佐藤　ウィルスのチェックは必ずやらないとだめですね。以前、気が付かないうちに感染していてひどい目にあったことがありました。それと、著作権や肖像権への配慮も必要です。

千葉　同期会の写真をアップロードしようとしたら、私の写真を掲出するのはやめて！とか？

藤井　エーッ、そんなこともあるんですか。

千葉　ないとも限らない！

佐藤　これからは写真を撮る時点で、ホームページ掲載の了解をとらないといけないようになるかもしれませんね。

水原　でも、それはまだ贅沢なほうの悩みです。在京白堊会のオフィシャルページの掲示板に、もっと書き込んだり情報を送って欲しいですね。更新したいんですが、とにかく情報が少ない。岩手日報を読めとも言われるけど、記事だけでは白堊関係かどうかわかりません。しかし、白堊出身で活躍している芸術家、学者、文化人、企業人、アスリートなど、たくさんいらっしゃるはずです。そういった情報を、自薦、他薦いずれでもよいですから、もっといただければと思います。特に、「こんな芝居をやる」「コンサートをやる」「こんな作品をつくった」といった学生や若い人の情報が欲しいですね。掲示板も、マナーはありますが、基本的には井戸端会議のようなものでよいと思いますから、もっと気軽に書き込んで欲しいと思います。

馬場　これは七夕会の管理人というより、事務局からのお願いになりますが、先ほど海外の同窓生からのリンクが話題になったように、電子ネットワークができると、白堊の輪も大きくなります。総会の機会に会ってみたいということにもなります。白堊の会員の皆様には、これからも、ホームページの輪をもっと大きく広げていって欲しいと思います。管理人の皆様には、ボランティアでご苦労をおかけしますが、白堊の発展のため、これからさらに一肌も二肌も脱いでいただくよう、よろしくお願いいたします。

司会　話題は尽きませんが、馬場事務局長にまとめていただいたところでお開きにします。

話題が尽きず、３時間の予定があっという間に経過した白堊関連ホームページ管理人の座談会